

教材活用シリーズ 第180回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果を得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

ココロとカラダの大切にしかた入門 『コロカラBOOK』

中学校の授業で使える包括的性教育の教材、できました

(株)正進社
『コロカラBOOK』



(株)正進社
編集部

〇『コロカラBOOK』とは？

『コロカラBOOK』は、中学校の授業で使う包括的性教育の教材です。包括的性教育の国際的な指標として知られる『国際セクシュアリティ教育ガイドダンス』（ユネスコ）に基づき、からだの変化や生殖のしくみのみならず、からだの権利・ジェンダー・性の多様性・コミュニケーション・性暴力など、幅広い分野を扱います。さらに、それらの知識に基づいてよりよい選択をしたり、自他ともに尊重される関係を築いたりするための態度やスキルの獲得を通して、学習者のウェルビーイングの実現を目指し

CONTENTS	
はじめに	この本の使い方 / この書で学ぶこと 002
自分のからだを大切にしよう	
1	自分のからだをケアする 003 059
2	生まれるってどういうこと？ 011 081
多様な生き方を尊重しよう	
3	ジェンダーって何？ 027 091
4	性のあり方は人それぞれ 035 103
他者とのかかわりの中で生きる	
5	関係なコミュニケーションのあり方 043 117
6	性暴力を考える 051 127
7	どんなふうになってもいい？ 059 137
参考文献	

▲『コロカラBOOK』で扱う内容

ます。

「からだ」や「こころ」について、また自分のもっている権利について知っておくことは、人生のさまざまな場面においてよりよい選択をするためにとても大切なことです。これからの社会を担う子どもたちが、互いを尊重し合いながら、自分あるいは自分たちが望む社会を思い描くことができるようになるために、包括的性教育が必要とされています。

〇先生が教えるの、大変では？

たしかに、包括的性教育を専門的に学んだ先生は決して多くはないのが実情です。ご経験のない先生がいきなり授業を実施するのは簡単なことではありません。そこで、『コロカラBOOK』では、包括的性教育のご経験がない先生にも授業がしやすいよう、構成に工夫を施しました。

教材の前半「教室で観よう」では、専門的な内容は、助産師で性教育Youtuber

▼解説動画 sample

▲専門的な内容は動画で解説

u berのシオリヌさんがすべて動画で解説してくれます。先生には「進行役」を務めていただくことで、ちょうど外部講師による講演を聴くときに、生徒と先生が一緒になって授業に参加することができます。

教材の後半「自分で読もう」は、もともと知りたいことや何か悩んでいることがあるときに生徒が自分自身で読むことができるパートです。授業のあとでさらに知識を深めるために読んでもいいし、必要に応じて調べものを使うこともできます。性に関することは、子どもによつて興味・関心も、受け止め方も異なります。「自分で読もう」は、そうした生徒たちの多様な状況に対応しつつ、生徒自身の主体的な学習を手助けします。

○どの時間を使って授業をするの？

特別活動・総合的な学習・道徳の時間のほか、保健や理科をはじめとした関連の深い教科の時間に使用していただくことができます。教科との結びつきを対照表にまとめています。

1トピックは、授業1コマで完結します。『コロカラBOOK』には全7トピックあり、7コマですべてのトピックを学習することができます。各トピックはどの学年でも学習することができますが、例えば3年間で学習する場合、TOPIC1・2を1年生、TOPIC3・4を2年生、TOPIC5・7を3年生で扱うのがおすすめです。

中学校で包括的性教育の授業を実施するにあたっては、保護者の方々の理解を得ることが大切な場合があります。必要に応じてご利用い

ただけるよう、保護者へのお知らせテンプレートもご用意しています。

○包括的性教育、みんなどう思ってる？

正進社では、2023年12月1日から2024年1月15日に、クラウドファンディング「#学校で性教育を」を実施しました。大変多くの方々からご支援をいただき、モニターを希望する中学校へ『コロカラBOOK』を無償配布いたしました。

その無償配布先（計129校）の生徒・先生・保護者を対象としてアンケートを実施し、2024年4月1日から2025年3月31日までに、80校（生徒…7,872人、教員…197人、保護者…624人）からご回答をいただきました。

ここでは、アンケート結果の一部（下記）を抜粋してご紹介します（アンケート結果の詳細は、特設サイト上でご覧いただけます）。なお、1～4段階の選択式回答においては、1を否定的な回答、4を肯定的な回答（2、3については、その中間的な回答）として位置づけ、自身にもっともあてはまる数字を選んでもらう形式をとりました。

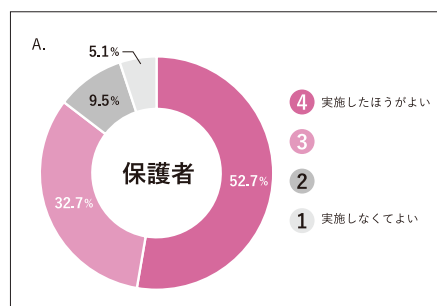
アンケート結果からは、生徒・先生・保護者いずれも、中学校で包括的性教育を実施することや『コロカラBOOK』の内容を扱うことについて肯定的に捉えていることが明らかとなりました。



▲特設サイト

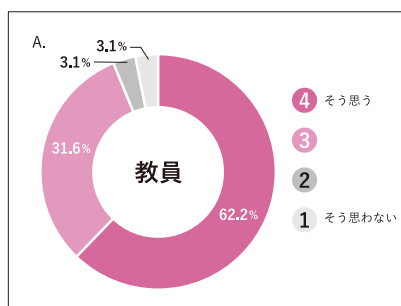
【保護者の回答】

Q. 包括的性教育の教材を購入して学校で授業を実施することについて、どう思われますか。



【教員の回答】

Q. 包括的性教育は現在の中学生にとって必要だと思いますか。



【生徒の回答】

Q. コロカラBOOKの内容を中学校で扱うことについて、どう思いますか。

